

【単位対象プログラム一覧】

【10月29日（木）】

No.	セッション種別	時間	会場	演者	演題名／テーマ	日整会	その他
1	基調講演	8:20 ～ 9:20	1	仁木 久照	日本足の外科学会が目指すもの ― 人を育て、専門性を磨き、社会へ還元する ―	12	
2	シンポジウム 3	9:00 ～ 10:30	2		アキレス腱治療の最前線		スポーツ
3	教育研修講演 2	9:10 ～ 10:10	3	渡邊 耕太	足部・足関節の解剖と機能 ― 新たな運動療法を見据えて ―	1,12 Re	リハ
4	特別講演 1	9:30 ～ 10:30	1	田中 康仁	足の外科医が知っておくべき我が国におけるフットケアの現状と未来	12	
5	教育研修講演 1	10:40 ～ 11:40	2	熊井 司	足のスポーツ医科学研究はいかが？	2,12 S	スポーツ
6	ランチョンセミナー 1	12:00 ～ 13:00	1	中佐 智幸	慢性足関節不安定症に対する機能的かつ解剖学的修復の重要性	12	
7	ランチョンセミナー 2		2	米津 大貴	DTOO をもっと身近で安全な関節温存手術へ ― 原法に基づく手術手技の実際と DTOO 専用プレートの活用 ―	6,12 R	
				野口 貴明	関節リウマチ患者に対する遠位脛骨斜め骨切り術（DTOO）のポテンシャルと実際		
8	ランチョンセミナー 3		3	谷口 晃	人工足関節全置換術における手術精度向上への工夫 - 専用器械の開発と手術手技の改良 -	12	
				三井 寛之	人工距骨併用人工足関節置換術（cTAA）の治療戦略		
9	ランチョンセミナー 4		4	萩尾 友宣	足の外科医が知っておくべき関節リウマチ診療のポイント	6,12 R	リ財
10	ランチョンセミナー 5		5	金澤 和貴	脛骨天蓋骨折治療の実践知 ― 合併症を防ぐための Tips & Pitfalls ―	2,12	
11	教育研修講演 3	13:50 ～ 14:50	3	生駒 和也	進行性扁平足（PCFD）の Update	12	
12	パネルディスカッション 1	13:50 ～ 15:20	4		私のリウマチ足治療		リ財
13	アフタヌーンセミナー	15:40 ～ 16:40	2	滝 正徳	足関節骨折：骨・靱帯・軟部組織から治療を組み立てる	2,12	
				伊勢福 修司	足関節果部骨折の治療 ― 何を考え、何を治すのか ―		
14	シンポジウム 5	16:50 ～ 18:20	2		ダンサーのための足の外科診療の最前線		スポーツ
15	イブニングセミナー	16:50 ～ 17:50	4	多田 昌弘	炎症制御のその先へ ― 足と筋肉から考える RA 患者の健康寿命延伸 ―	6,12 R	
				野坂 光司	骨粗鬆症高齢者の足関節周囲骨折・疾患における最新の治療戦略		

【10月30日（金）】

No.	セッション種別	時間	会場	演者	演題名／テーマ	日整会	その他
16	特別企画 3	8:00 ～ 9:00	1	竹中 信之	足の外科医の社会的・院内プレゼンス向上を目指して — 社会保険委員会活動と診療報酬改定の実際 —	12	
17	特別講演 2	9:10 ～ 10:10	1	橋本 健史	足部・足関節のスポーツ外傷・障害の診断、治療、バイオメカニクス	2,12 S	スポーツ
18	ランチョンセミナー 6	12:00 ～ 13:00	1	Christopher David Kreulen	Latest Ankle Fracture Solutions: Variable Pitch Locking Screw	2,12	
19	ランチョンセミナー 7		2	原口 直樹	プレートを使った足部・足関節手術のすべて — 外傷から機能再建まで —	2,12	
20	ランチョンセミナー 8		3	蛭名 耕介	足の外科医が知っておくべき関節リウマチ診療の最前線 ～ JAK 阻害薬時代の診断・薬物治療・手術戦略～	6,12 R	リ財
21	ランチョンセミナー 9		4	笹原 潤	アキレス腱断裂に対する手術信仰を問い直す - 超音波を活用した「超」積極的保存療法 -	12, Re	
				寺本 篤史	変形性足関節症に対する積極的手術後療法 — ギプス固定から装具を用いた早期荷重へ —		
22	ランチョンセミナー 10	5	野坂 光司	足部・足関節再建におけるリング型創外固定の有用性 — 私の適応と限界—	2,12		
23	教育研修講演 4	13:10 ～ 14:10	1	佐本 憲宏	外反母趾の病態から治療まで	12, R	リ学 リ財
24	教育研修講演 5	13:10 ～ 14:10	3	高尾 昌人	JOFAS (Journal of Orthopaedic Foot and Ankle Science) : 現状と将来の期待と課題	12	
				山口 智志	査読者を疲れさせない論文作法 — アクセプトに近づく Reviewer-friendly な論文の作り方 —		

※その他の項目について

- ・リハ：リハビリテーション医学会
- ・リ学：日本リウマチ学会
- ・リ財：日本リウマチ財団
- ・スポーツ：日本スポーツ協会

日整会単位項目内容（対象項目）

●単位種別

(S) スポーツ単位 (R) リウマチ単位 (Re) 運動器リハビリテーション医単位

●N 必須分野

- [1] 整形外科基礎科学
- [2] 外傷性疾患（スポーツ障害を含む）
- [6] リウマチ性疾患，感染症
- [12] 膝・足関節・足疾患